整理No.	72

平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

【１．施策名】

施策コード	451-01	基本施策	国際化の推進	所管部局	企画政策部
施　策　名	国際交流の推進			主担当課	秘書課国際室
				関係部局課	教育委員会学校教育課
施策の目標	海外都市との交流や市民ボランティアの育成、国際交流団体への活動支援、国際交流情報の発信などにより、市民主体で国際的な活動を展開できる環境を目指します。				

【２．施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など
・外交問題が近年顕著となる中、姉妹都市・友好都市との市民レベルでの草の根交流は、市民同市の友好親善活動として、重要な意味を持つ。また、国際化・グローバル化が急速に進展する現代において、市民、とりわけ次世代を担う子どもたちが教育・文化・スポーツなどの様々な分野で海外との交流を通じ、異文化への理解を深め、国際感覚を高めることが重要であり、こうしたことから海外都市との国際交流を推進するものである。 ・国際交流が活発化するためには、市民が主体的に活動することが重要になる。国際交流に関心を持つ市民から交流情報や交流の場を求める声や、交流団体からは資金不足で交流事業ができないといった声が寄せられることから、各種交流情報を発信し交流の機会を提供するとともに、国際交流団体が行う交流活動を支援し、市民が主体となった国際交流活動を促進する。

【３．施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H22）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
市民団体が主催する国際交流推進事業数	件	5	12	5				10

指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）
市が支援する国際交流イベント、留学生との交流などの国際交流推進事業件数（年度末計）	「国際交流推進事業補助金」の活用を市民に十分に周知することにより、事業の数がさらに拡大するよう努めていく。

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H22）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）

指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）

25年度の取組内容実績	・姉妹都市・友好都市交流事業や小・中学校での一校一国運動などの国際交流活動を推進した。 ・姉妹都市などの交流事業や県、大学等教育機関、国際交流関係機関、市民団体などが行う国際交流事業に関する各種情報を国内外に発信するとともに、国際交流コーナーの運営や国際交流員（CIR）の派遣、国際交流イベントの開催など、国際交流の場・機会を設け、市民が主体となった国際交流活動を促進した。 ・国際交流団体などが実施した国際交流事業に補助金を交付し、活動を支援した。

【４．総合評価】

総合評価　（目標値に向けて）	一部に努力を要する

	評価の理由・説明等
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	・国際情勢や姉妹都市等の状況の把握に努め、状況に応じた姉妹都市・友好都市交流事業を実施し、市民ニーズに沿った国際交流員活動などの交流事業を行っている。また、県、大学等教育機関、国際交流関係機関、市民団体などが行う交流情報の収集と発信、国際交流団体などが行う交流活動の財政支援（平成26年度に「長野市国際交流推進事業補助金」対象事業のうちホームステイに係る規則を改正し支援拡大を図った）など、市民主体で国際的な活動ができる環境づくりに向け、市民ニーズに沿った情報提供と交流活動の支援を行っている。
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	姉妹都市・友好都市交流のうち、中学生の受け入れについては相手側の事情等により実施できなかったが、今年度は姉妹・友好都市から中学生訪問団が来訪し、目標を達成できる見込み。 国際交流推進事業補助金については、長野国際親善クラブの解散（平成25年11月）の影響もあり、申請件数や補助金額が低調となったが、平成26年度に前述の内規改正により活用拡大を図ったため平成26年度は目標を達成できる見込みである。
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	事務事業である「姉妹都市・友好都市交流事業」及び「国際交流事業補助金」の平成25年度実績は目標を下回るものであったが、平成26年度は状況が改善し、目標を上回る見込みである。

【５．今後の展開】

	課　　題	課題解決に向けた具体的な取組
1	・姉妹都市・友好都市側の事情から中止や中断する交流事業がある。 ・多くの市民が様々な分野で交流事業に関わることができるようにする。	・両市との連絡を密にし、人数や滞在日数などの見直しを行う。 ・訪日団の日程や交流内容の工夫をする。また友好都市石家庄市との交流に関しては、長野市からも研修生の石家庄市への派遣が実現できるよう、要望を行っていく。
2	国際交流を目的に活動する市民や市民団体等への補助金活用に向けた周知が十分浸透していない場合がある。	国際交流団体情報交換会（年５回程度開催）など様々な機会において、積極的に周知していく。

施策展開の方向性（H26年度以降）	・姉妹都市・友好都市交流は国際交流事業の柱として、長年にわたり市民レベルでの交流を積み重ね、相互理解と友好親善を深めている。交流に関わる市民、関心を持つ市民を増やし、引き続き相互派遣による交流を実施していく。特に、青少年の相互交流の拡大は有益と考える。 ・国際交流の場・機会や情報提供については、国際交流ｺｰﾅｰの利用促進と国際交流ｲﾍﾞﾝﾄを定着させ、ｿｰｼｬﾙﾒﾃﾞｨｱを活用した「長野市国際交流Facebook」でネット上での交流も促進する。 ・国際交流関係機関・団体などと事業の連携や情報交換を行う。また、国際交流団体等に補助金制度の活用を促し、市民主体の国際交流活動を促進する。

【６．施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 ［事業区分］ 担当課名	事務事業の概要	事業の取組実績・成果
1	姉妹都市・友好都市交流事業 ［サービス提供事業］ 秘書課国際室、学校教育課	姉妹都市米国クリアウォーター市・友好都市中国石家庄市との交流事業を実施する。	＜姉妹都市交流＞①交換教師派遣②英語教師受入れ③交換中学生派遣④交換中学生受入れ（中止）＜友好都市交流＞①中学生友好代表団受入れ（中止）③語学研修生受入れ（H25年度実績）
2	国際交流事業補助金 ［補助金・金銭給付事業］ 秘書課国際室	市民団体が主催する国際交流イベントや留学生との交流などの国際交流推進事業の実施を支援する。	外国人との交流会やｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ等の国際交流推進事業を開催した国際交流団体等に対し、国際交流基金を活用した国際交流推進事業補助金を交付した。（H25年度実績：4団体、5事業）
3			
4			

番号	達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	年度別事業費（千円）（H26は予算額） H23	H24	H25	H26
1	C	A	A	B	B	継続	24,151	27,941	24,094	33,792
2	C	A	A	A	A	継続	874	1,925	1,430	2,732
3										
4										

5		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
6		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
7		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
8		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
9		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
10		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26